



8団だより

第3号

名古屋第8団
団委員会発行

2012年度上進・入隊者 (五十音順・敬称略)

これから一年、新たな気持ち
でがんばってください。
おめでとうございます。

カブ隊

太田 匠
小林 美空
西川 竜登

ボーイ隊

荻須 小暖
堀 秀樹
村上 慧汰

ローバー隊

川上 湧也
真鍋 実穂
水戸 志保
諸岡 寛士

あけましておめでとうございます。B-Pが、なにかとスカウティングの参考にした、アメリカインディアン。その教えを本にした「Children Learn What They Live」の中に「If a child lives with security, He learns to have faith. (思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます)」とあります。今年は、名古屋第8団を、スカウトを思いやりのある中に置いてやれる団にしたいものです。(団委員長 阿部秀志)

スカウト教育年度の変更について

地区の施策に翻弄され、一旦4-3月年度にしましたが、新しい巽地区では、日本ボーイスカウト連盟の教育規定に則った9-8月年度を推奨され、隊リーダーもプログラムの都合上、9-8月年度が良いとのことで提案がありました。いろいろ団委員会にて、議論して頂いた結果、教育年度を、平成24年9月より、9-8月年度にすることになりました。そこで、過渡期として、平成23年12月に今年度を終了とし、平成24年1月より8月を過渡期年度とすることとします。いろいろな方にご意見を賜り、ありがとうございました。なお、あくまで教育年度の変更であり、育成会および団の年度は4-3月年度のままです。

台風12号・災害ボランティア活動レポート

V S 隊 成瀬明日香

平成23年9月18日、ベンチャー隊はチーフの水戸を中心に、川上・安本・諸岡・真鍋・成瀬の計6人が9月2日に紀伊半島を襲った台風12号の大水害に見舞われた三重県熊野市の災害現場へボランティアに行ってきました。日がまだ昇っていない午前4時に団ハウスを出発し5時間かけ現地へと向かいました。熊野市ボランティアセンターにて受付を済ませ、ボランティアの派遣要請をされた家へ向かう途中、さまざまな災害の傷を見ました。市街地に近いところでしたが道路の脇に積み上げられた泥の山。田んぼの中に流れ着いた巨大な木や家財など。それらを片付ける事が依頼の内容でした。流れて来た家財の中には本や写真、お守りなど家族の思い出の品々もありました。今回災害現場へボランティアとして参加して得られたのは、災害の目に見える辛さもちろんですが、見えない痛みも感じる事が出来た事です。そしてこれから起こるかもしれない災害や苦しんでいる人を助けるためにも、人の手によるボランティア活動は絶対に必要だと思いました。

